令和8年度庄原市食育研修会

令和8年8月7日（金） 庄原市総合体育館

学校や地域において、食の課題解決に向けた組織的、計画的な取組を行うため、本研修を通して、食に係る指導内容の充実を図るとともに、各校の教育活動に資することを目的に、研修会を行った。

【実践発表・演習】「第4次広島県食育推進計画を踏まえた食育の実践に向けて」
（実践発表演題） 「学校・家庭・地域をつなぐ食育の推進」

庄原市立西城小学校 栄養教諭 島中 沙季
庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 小原 義史





◆第4次広島県食育推進計画及び食育基本法の一部改正を踏まえた食育の充実に向けたポイントを確認し、西城小学校の実践発表、演習を行った。

・今後の食育の推進には、「家庭・地域・専門人材との連携」「農林漁業体験の充実」「学校給食を通じた学校教育活動全体での食育の推進」が重要となる。

・西城小学校では、「総合的な学習の時間」を通じて、農家の方と連携した農業体験の取組や給食試食会の再開による家庭への働きかけを行っている。体験活動の充実、保護者との連携により、食育の取組が充実し、子供たちの姿に少しずつ、確実に変容が見られるようになる。

【事業説明・演習】「本市の食育の現状と取組の推進について」

庄原市役所 保健医療課 主事 小坂 真菜美
庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 小原 義史





◆本市の食に関する実態（朝食喫食率や食事の栄養バランスの状況）を確認し、学校区ごとの児童生徒実態の把握、取組の充実に向けた協議を行った。

・保健医療課より、庄原市健康づくり推進計画について説明を行った。

・市の現状説明、食に関する実態調査の結果から、「家庭での生活習慣・食習慣」「朝食」等の「家庭の時間」に食育の観点からどのようにアプローチが必要かを考える必要があることを確認し、それぞれの所属で取り組めることについて協議した。

・保護者の方に食習慣の改善等を呼びかけるときは、「子供と一緒にやってみたい」「忙しくてもこれからなら」と思える取組を仕組み実践することが必要である。

【参加者の振り返りより】

・児童が体験活動で作った野菜を調理場と連携し、給食の食材として使用してもらったり、担任の先生方と連携して、総合的な学習の時間と食を関連付けた取組を進めたりすることで、児童の食育への意識を高めていきたい。

・実践発表を通じて、食育の推進には、学校・家庭・地域の連携が大切であることが分かった。また、学級活動は担任、給食は養護教諭や栄養教諭と役割を分けて考えるのではなく、組織的に取組を推進する必要があることが分かった。学校の計画を見直したい。

・庄原市の実態を知ることができてよかった。また、様々な学校の食育担当の方と交流することができて、食育の推進についてよく考えることができた。

・子供たちが前向きに食と向き合えるように学校掲示や取組の工夫を考え直したい。調理場の方と連携し、朝食の大切さを伝える機会を設けたい。庄原小学校の「朝食づくりチャレンジ」の取組を中学校区へ広げていきたいと感じた。